

[エコで日本のお祭りをサポート !!] ローソクの灯の揺らぎを求めて

有限会社 杉江電機



山車の提灯には省エネ LED 電球「エコタマ君」が使われている。
富山県高岡市 伏木曳山祭りでは、約 400 個の提灯に「エコタマ君」
が採用され、バッテリー 16 個 (480kg) が 4 個 (120kg) になった。

省エネ LED 電球「エコタマ君」

奈良県生駒市高山地区 茶せんりの竹林公園の「竹あかりの夕べ」に、
初めて当社の揺らぐ LED 照明が採用され、まったくローソクとの
区別がつかない「光の揺らぎ」が主催者に認められた。
折からの省エネブームで、全国の山車・だんじり・おみこしの
提灯用や竹灯籠用に販路を伸ばしている。

ローソクの灯の揺らぎを LED 照明で実現

LED 電球からの発光が、本物のローソクからの灯火と区別がつかない微妙な揺らぎがある。
この LED 電球を「かぐや姫の瞳」として販売している。「かぐや姫の瞳」は、竹灯籠、提灯、置
き行燈、灯籠やお仏壇の灯明に用いられている。
奈良公園一帯の真夏の燈花絵にも一部使用されている。

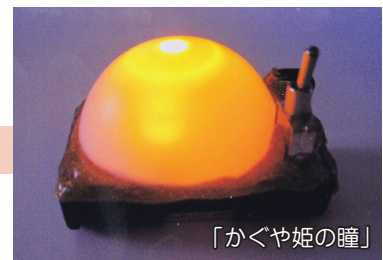
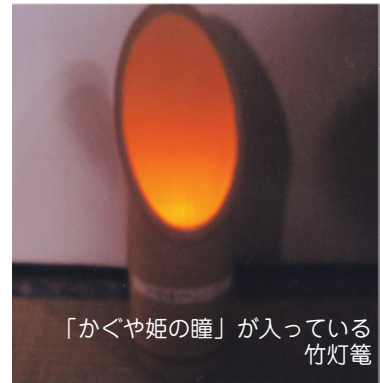


竹灯籠には「かぐや姫の瞳」が使われている

幻想的な「竹あかりの夕べ」の竹灯籠からヒントを得た

6年前、奈良県生駒市の竹林公園「竹あかりの夕べ」のイベントを見て、安全で管理に手間のかからないLED照明が出来ないかと考えた。時を同じくして、イベント関係者から、ローソクの灯のように灯火が揺らぐものは出来ないかと相談があり、灯の揺らぐ電球100個を作り納入したのが始まり。これが現在の電子ローソク「かぐや姫の瞳」になった。

またこのイベントの様子を記載した当社のホームページを見た富山県高岡市、伏木曳山祭のイベント関係者から山車に使う400個近い提灯にこのLED照明を使いたいと相談があり、3ヶ月の試行錯誤の末、省エネLED電球「エコタマ君」を開発し納入した。奈良のエジソンの早業である。



【光の揺らぎ】 なんだろう

光の揺らぎ。本物のローソクと区別がつかない揺らぎを得るために、いくつかのLEDを電球内のどこにどのように配置するか、どのLEDをどのようなタイミングで点滅させるのか、試行錯誤を1年間繰り返した。竹筒に入れた本物ローソクの光の揺らぎを見ながら、何度も何度も試作して調整した。

ローソクの灯に近い色合いのLEDの選定、LEDからの発光が竹筒の内面に反射する微妙な揺らぎの変化、どれもが難題だった。

開発段階におけるお客様からの無理難題な要求は、これに真剣に立ち向かうことで会社の技術が向上する。お客様の声は貴重な情報源であり、一種の経営のガイダンスでもあると受け止めている。

多くのお寺や神社で日常的に使用されているローソクを当社の省エネLED照明に交換すれば、着火の手間が省け、消し忘れや火災の心配もなくなり貴重な文化財を火災から守ることが可能であり、CO₂削減にも効果がある。

このような観点から、今後全国各地の役所にPRしてLED照明採用に対して補助金を出してもらえよう働きかけたいと考えている。

有限会社 杉江電機



店長 杉江 久男

〒630-0142

奈良県生駒市北田原町 2453 - 2

TEL ■ 0743 - 78 - 0026

FAX ■ 0743 - 79 - 9954

URL ■ <http://www.sugiedenki.co.jp>